



満州事變に戦死せる

中田伍長の遺骨

明廿二日午後一時平驛着 同驛樓上にて玉串奉典

石城郡江名町の江名字南町... 由松氏の四男陸軍歩兵伍長...

激戦に

名譽の戦死... 同勇士の遺骨は原隊若松二...

在郷軍

人分會長... の他近親者が向若してゐる...

到着す

るので中町... では驛の樓上を假慰靈祭場...

Table with 2 columns: 日曜大衆, 日曜大衆. Lists names and amounts.

音楽會

來る廿八九兩日 同校内に於て

縣立警城高等女學校では來... 二十八日の兩日同校内に...

就學兒童

前年より約 八分の増加

平均に於ける七年度の就... 學兒童は各校の配數左記の...

北目地内で辻強盗

今朝半署の捕賊演習 二人組の賊は午前四時頃

の逮捕演習に管内七十名の... 署員に對して全活動を試み...

探査網

の結果午前... 四時半頃に至り賊の一名を...

新川線で江名駐在の佐藤巡... 査が獲る一名を八幡小路に...

在平新

開記者及び... 消防組員列席慰勞會の席上...

市川檢事の祝辭あり簡素な... 朝さんを共にして午前九時...

石城の水田作物種

多いのは愛國五號 九千町歩に對する苗代は

Table titled '日用品の動き' listing various goods and prices.

減つて獲物が

が殖える 師平署の免許は

一割五分減か... 半署管内に於ける本年狩獵...

研究會

英語科... 鹿島郡鹿島村の消防組では...

石城郡鹿島村の消防組では... 同村大字走熊字七本松の山...

榮養料理の

お献立 學齡兒童營養第三例

なつてゐると... 米愛國五號二一六九...

鹿島の鐵骨火見櫓

石城郡鹿島村の消防組では... 同村大字走熊字七本松の山...

鹿島郡鹿島村の消防組では... 同村大字走熊字七本松の山...

増え

成金と云ふ... 奴あれば自...

成金と云ふ... 奴あれば自...

お献立

學齡兒童營養第三例... 材料一人前...

竣工を告げ落成式を擧げた... 儲けた金持なんだ歐洲戰亂...

研究會

英語科... 鹿島郡鹿島村の消防組では...

石城郡鹿島村の消防組では... 同村大字走熊字七本松の山...

お献立

學齡兒童營養第三例... 材料一人前...

材料一人前... 大豆 一〇グラム...

お献立

學齡兒童營養第三例... 材料一人前...

藤沼

水田裏作の
蔬菜栽培 (七)

本縣農試 石城分署 失ヶ崎 技手
栽植の場合には先づ以ての高畦に横に畦巾二尺の溝を掘り所定の株間に基肥を施し其の脇に以上の發芽を促進せしものを芽が一寸五分位に伸長したる薯を切口を側面にして栽植し一寸位被土をなすのである
次に肥料であるが當石城分場の反當標準を記すれば次の如くである
肥料名 總 量 基 肥
堆 肥 三〇〇貫〇〇貫
大豆粕 一五貫 一五貫
過燐酸 六貫 六貫
石灰 一五貫 一五貫
木 灰 一五貫 一五貫
人糞尿 二七〇貫 九〇貫
第一回追肥 四月下旬 人糞尿 九〇貫、第二回追肥 五月中旬 人糞尿 九〇貫
三要素最窒素 三貫七五〇貫、燐酸 二貫七一五貫、加里 三貫五四〇貫
管理としては芽が伸長して来たならば其儘にして置くと多數の芽が一ツの薯から發生する爲めに肥大なる薯を着生せず小薯を多數に生ずるものであるから四月中旬頃に強健なる芽を一株二本位づつ残してその他ものは除蕪して薯の肥大を計ることが必要である

平町
藤沼醫院
電話 七〇五番

恐怖時代の
動脈硬化症
豫防及治療新藥
アイヨ一錠
試用 二圓
定 中 六圓
價 大 廿圓

發賣以來
白熱的に
歡迎せらる
特約店
山野邊藥局
平町五丁目

お醤油は ヤマフル
醬油 味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品
鹽屋
山崎合名會社
電話 本島部 一〇番
福島部 二七番
平町部 二〇番

開業院
藤島縣平町大町(新川端)
醫學博士 難波 陸
電話 五二二番

高島屋
品質之優
價之廉
高島屋
電話 五二二番

新築移轉 平町字古鍛冶町縣社前通り
内科 小兒科
矢吹醫院
院長 矢吹 大輔
電話 二六六番

模範 裁縫 高島屋洋服店
冬服の御用命は 高島屋へ
新柄着荷
病體改造
カイソネーチャ療法
吉田 五平

常は布團の御保存に
旅行にはトランクの代用
非常の時には非常袋
赤玉印フトン袋
類似品有赤玉印に御注意を願います
松印 夜具五枚入 二圓七十錢
竹印 夜具二流入 三圓二十錢
梅印 夜具五枚入三番蓋バンド付四圓五十錢
各種陳列目下 賣出し中
特販約賣店 本丸ぼん (平三丁目) 電話三五九

靴一統用學通
許特案新用實
耐久普通品ノ數倍
經濟一沓下ガゴム靴ノ
時ノ使用ノ二倍
以上經濟ニ使ヘマス
ヤルツ
〇四一電 四平

毒下の大妙藥
安流丸
支那料理共に自慢の腕
サーピスのよい
女給も揃つて二座います
期節的の支那料理
は特に勉強
四品付定食五十錢、五品付定食一圓
平町、四丁目 電話、五七六
カフエーボタン

冬も暖かく
●裏毛メリヤス 三五錢
●毛メリヤス 一二〇錢
●婦人みやこ 六八錢
●婦人毛シャツ 九五錢
モリタヤ洋品店
平町五丁目 電話 三五三

SAIZ SEN
6.75.....40,
8.85.....50,
9.9597...55,
10以上...65,
〇四一電 四平